

2023年3月期

第2四半期 決算説明会

決算説明および成長戦略

三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO 宮内 大介

2022年11月18日

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

1	2023年3月期 第2四半期業績	3
2	2023年3月期 通期見通し	13
3	株主還元・資本政策	18
4	中国事業の進捗と今後の見通し	21
5	カーボンニュートラルに向けた取組み ～コンプレッサの事業展開～	32
6	Appendix	43

注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 2023年3月期 第2四半期業績

三浦工業株式会社

取締役常務執行役員

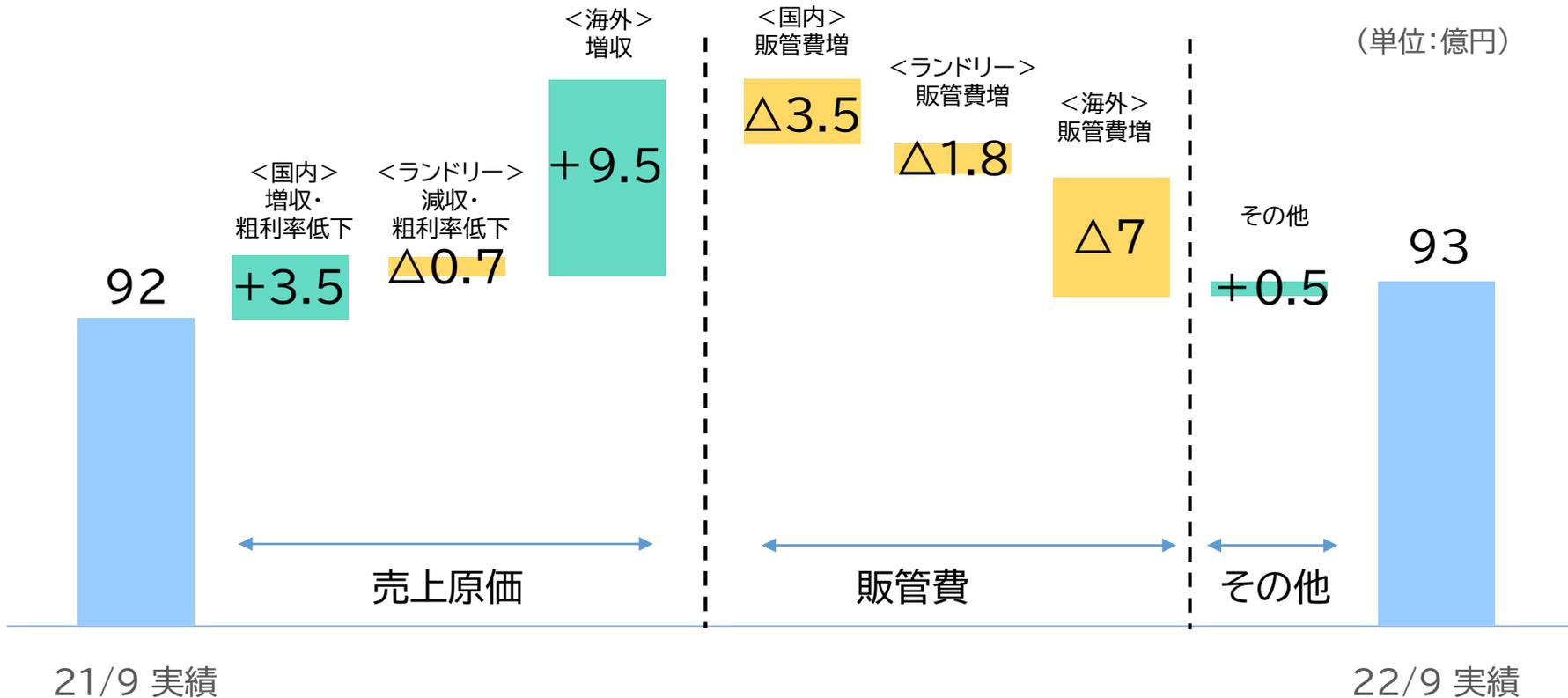
管理統括本部長 廣井 政幸

<IFRS>	単位	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	前年 同期比	2023年3月期 2Q 計画	2023年3月期 通期計画
売上収益	億円	662	692	+30	725	1,550
営業利益	億円	92	93	+0.5	94	200
営業利益率	%	14.0	13.5	△0.5	13.0	12.9
税引前利益	億円	94	104	+9	100	212
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	67	76	+8	72	152
1株当たり当期利益	円	60	67	+7	63	134
配当	円	17	19	+2	19	41

概要

- ・国内は、船用機器や小型貫流蒸気ボイラ及び関連機器の販売、メンテナンス事業の売上が堅調に推移
- ・海外は、米州でボイラ販売が堅調に推移、為替の影響もあり、売上増加
- ・利益面は、原材料価格の上昇や営業活動の活発化により経費は増加したが、為替の影響もあり、増益

営業利益増減要因(前年同期差)



- ・国内は増収だが、原材料価格の上昇や販管費の増加、商品構成の変化により、利益は微増
- ・ランドリーは販売費増加により、利益は減少(前年度大型物件あり)
- ・海外は増収及び為替効果により利益が増加

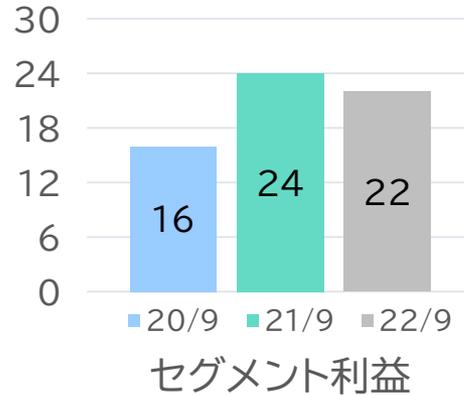
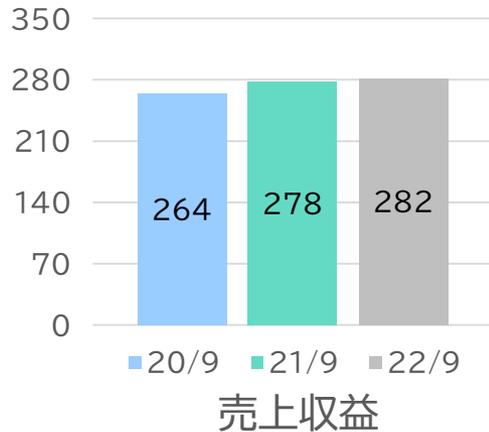
セグメント別

単位:億円

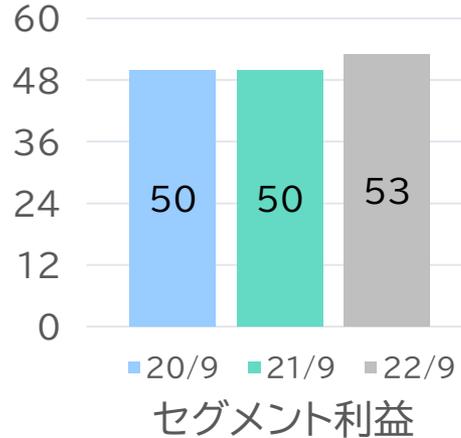
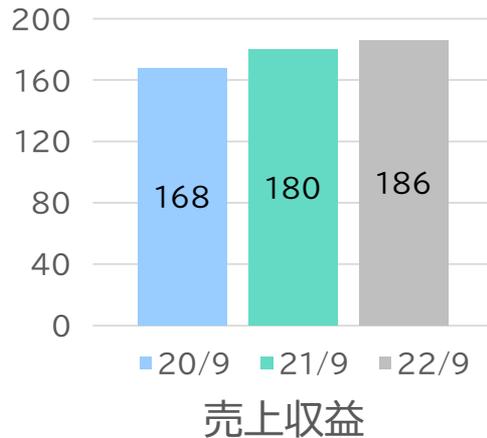
	売上収益				営業利益			
	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年 同期比	2Q 計画	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年 同期比	2Q 計画
国内機器販売	278	282	+3	302	24	22	△2	28
国内メンテナンス	180	186	+5	183	50	53	+2	46
ランドリー	65	63	△1	78	2	△0.3	△2	2
海外機器販売	100	113	+12	123	8	11	+3	12
海外メンテナンス	36	45	+9	39	6	7	+0.6	6
合計	662	692	+30	725	92	93	+0.5	94

セグメント別(前年同期比)第2四半期

(単位：億円)

【国内機器販売事業】売上収益：前年比 +1.4%、セグメント利益：前年比 △8.2%

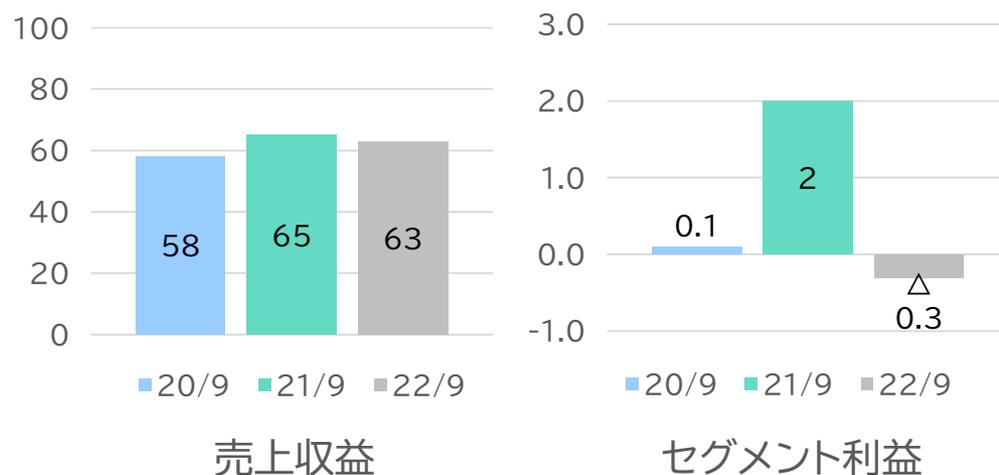
- ・ 船用機器、小型貫流蒸気ボイラ及び関連機器の販売が堅調に推移したため、売上が増加
- ・ プロダクトミックス、原材料価格の上昇や営業活動に伴う費用の増加により利益は減少

【国内メンテナンス事業】売上収益：前年比 +3.2%、セグメント利益：前年比 +5.0%

- ・ 有償保守契約件数の増加により、売上、利益ともに増加

セグメント別(前年同期比)第2四半期

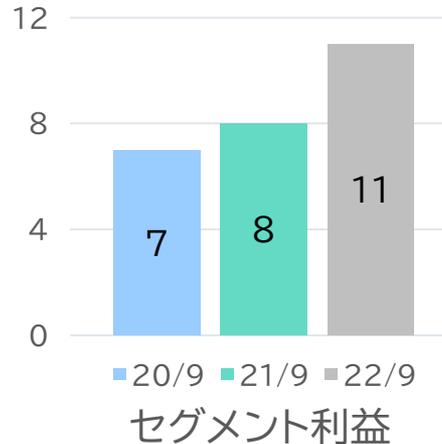
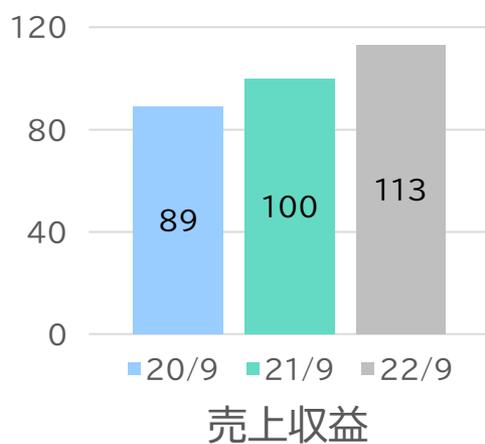
(単位：億円)

【国内ランドリー事業】売上収益:前年比 $\Delta 2.4\%$ 、セグメント利益:前年比 $-$ %

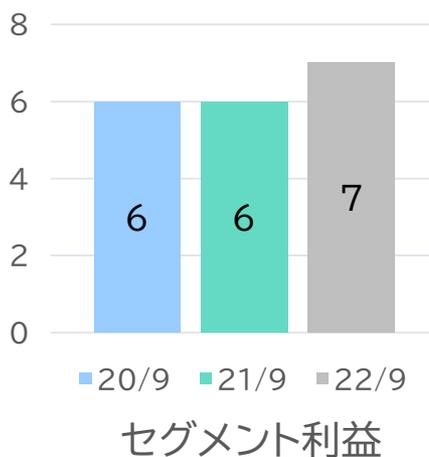
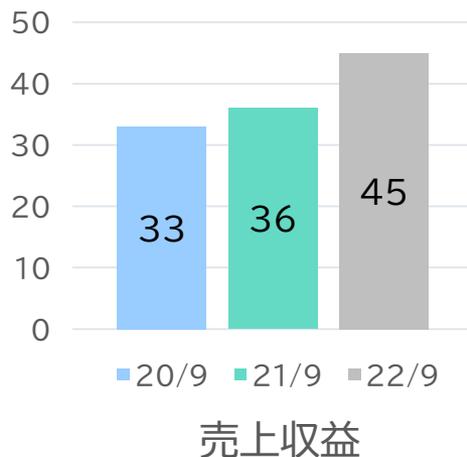
- ・新規連結の影響やアフターコロナに向けた生産性の向上、省人化や省エネなどを目的とする老朽化設備に対する需要回復がみられたが、前年度に大型物件の受注があった影響もあり、売上は減少
- ・売上の減少や販売費用の増加により、利益も減少

セグメント別(前年同期比)第2四半期

(単位：億円)

【海外機器販売事業】売上収益:前年比+12.9%、セグメント利益:前年比 +37.9%

・韓国の景気低迷により売上が低調に推移したが、米州で販売店との営業活動での連携強化や販売価格改定などで事業環境が上向いたことや為替の影響もあり、売上、利益ともに増加

【海外メンテナンス事業】売上収益:前年比 +25.1%、セグメント利益:前年比 +9.6%

・各国での有償保守契約の積極的な取得により売上は増加
 ・保守契約に対する費用増加の影響があったが、利益も増加

事業別 売上高

単位:億円

		2021年3月期 2Q(実績)	2022年3月期 2Q(実績)	2023年3月期 2Q(実績)	前年 同期比
国内	ボイラ	260(264)※	295(300)※	296	+1
	アクア(水処理機器)	26(22)※	32(27)※	33	+1
	舶用	62	44	53	+9
	食機・メディカル	50	58	59	+1
	ランドリー	58	66	64	△2
	その他(特機・新事業開発・環境等)	35	30	28	△2
	国内計	492	525	533	+8

※ボイラ事業、アクア事業について、データ集計の細分化が出来たことにより、2021年3月期及び2022年3月期業績を修正しております。()内のデータは修正前の業績になります。2023年3月期計画は変更いたしません。

- ・ 舶用機器、小型貫流蒸気ボイラ及び関連機器の販売が堅調に推移
- ・ ランドリー事業は、新規連結会社の影響や省人化や省エネを目的とする老朽化設備の更新需要の回復がみられたが、当年度は前年度に大型物件の売上があったことや 部品納期遅延による生産への影響もあり、売上が減少

事業別 売上高

単位:億円

		2021年3月期 2Q(実績)	2022年3月期 2Q(実績)	2023年3月期 2Q(実績)	前年 同期比
海外	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ)	21	30	45	+15
	韓国	40	39	37	△1
	中国	46	44	47	+3
	その他(ASEANほか)	17	24	28	+4
	海外 計	124	137	159	+22

- ・韓国は、景気低迷によりボイラ販売が低調に推移
- ・中国は、新型コロナウイルスの影響による行動制限により営業活動が停滞
- ・米州は、販売店との営業活動の連携強化や販売価格改定で売上が増加
- ・ASEANほかは、省エネ提案によるボイラ販売が堅調
- ・為替の影響もあり、売上が増加
- ・メンテナンス事業は堅調に推移

連結財政状態計算書(バランスシート)

単位:億円

		2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年 同期比
資産	流動資産	1,209	1,292	+83
	現金および現金同等物	371	366	△5
	営業債権	388	397	+9
	その他の金融資産	218	201	△17
	棚卸資産	222	299	+77
	その他流動資産	7	27	+20
	非流動資産	785	956	+171
	資産合計	1,995	2,249	+254
負債・資本	流動負債	432	495	+63
	営業債務	134	140	+6
	その他	298	355	+57
	非流動負債	64	72	+8
	負債合計	497	567	+70
	資本合計	1,497	1,681	+184

・棚卸資産は新規連結会社や販売延期、下期物件集中などにより増加

・コベルコ・コンプレッサへの出資により非流動資産が増加

2. 2023年3月期 通期見通し

通期見通し

	単位	2022年3月期	2023年3月期 計画	前年同期比
売上収益	億円	1,435	1,550	+115
営業利益	億円	194	200	+6
営業利益率	%	13.5	12.9	△0.6
税引前利益	億円	204	212	+8
親会社の所有者に帰属する当期利益	億円	144	152	+8
1株当たり当期利益	円	127	134	+7
為替レート				
USD	円	112.39	120.00	+7.61
元	円	17.51	19.00	+1.49
WON(100W)	円	9.64	10.10	+0.46

セグメント別

単位:億円

	売上収益			営業利益		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	増減	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	増減
国内機器販売	631	651	+20	58	59	+1
国内メンテナンス	370	383	+13	96	97	+1
ランドリー	131	166	+35	3	5	+2
海外機器販売	224	269	+44	23	25	+1
海外メンテナンス	77	81	+3	13	14	+1
合計	1,435	1,550	+115	194	200	+6

事業別

単位:億円

	事業・地域	2022年3月期 実績	2023年3月期 当初計画	2023年3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減
国内	ボイラ	639(648)※2	663	663	—
	アクア(水処理機器)	73(64)※2	69	69	—
	船用	96	98	98	—
	食機・メディカル	126	133	133	—
	ランドリー	131	166	166	—
	その他(特機・新事業開発・環境等)	68	71	71	—
	国内計	1,133	1,200	1,200	—
海外	米州	67	79	94	+15
	韓国	80	93	93	—
	中国	104	119	100	△19
	その他(ASEANほか)	51	59	63	+4
	海外計	302	350	350	—
合計		1,435	1,550	1,550	—

※1 修正計画は第2四半期決算で使用した為替レートで算出しております。

※2 ボイラ事業、アクア事業について、データ集計の細分化が出来たことにより、2022年3月期業績を修正しております。
()内のデータは修正前の業績になります。2023年3月期計画は変更いたしません。

通期見通し変更理由(海外)

地域	変更理由	
米州	<ul style="list-style-type: none">・販売店との提携強化で売上が堅調(アメリカ)・価格改定効果(前年度)により売上増加・為替の影響(対計画+8億円)	
韓国	<ul style="list-style-type: none">・中小企業のお客様への売上が低調、大手企業のお客様への売上は堅調(大手企業向けへの行動強化)・為替の影響(対計画+2億円)	
中国	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響による行動制限により営業活動が停滞・為替の影響(対計画+4億円)	
その他 (ASEANほか)	<ul style="list-style-type: none">・省エネ提案によるボイラ販売が堅調・為替の影響(対計画+3億円)	
海外事業	<ul style="list-style-type: none">・為替の影響(対計画+17億円)・保守契約件数は堅調に増加	

3. 株主還元・資本政策

① 安定的な配当増の継続

② 連結配当性向30%を目処

21年3月期

中間 14円
期末 21円

合計 35円

22年3月期

中間 17円
期末 22円

合計 39円

23年3月期(計画)

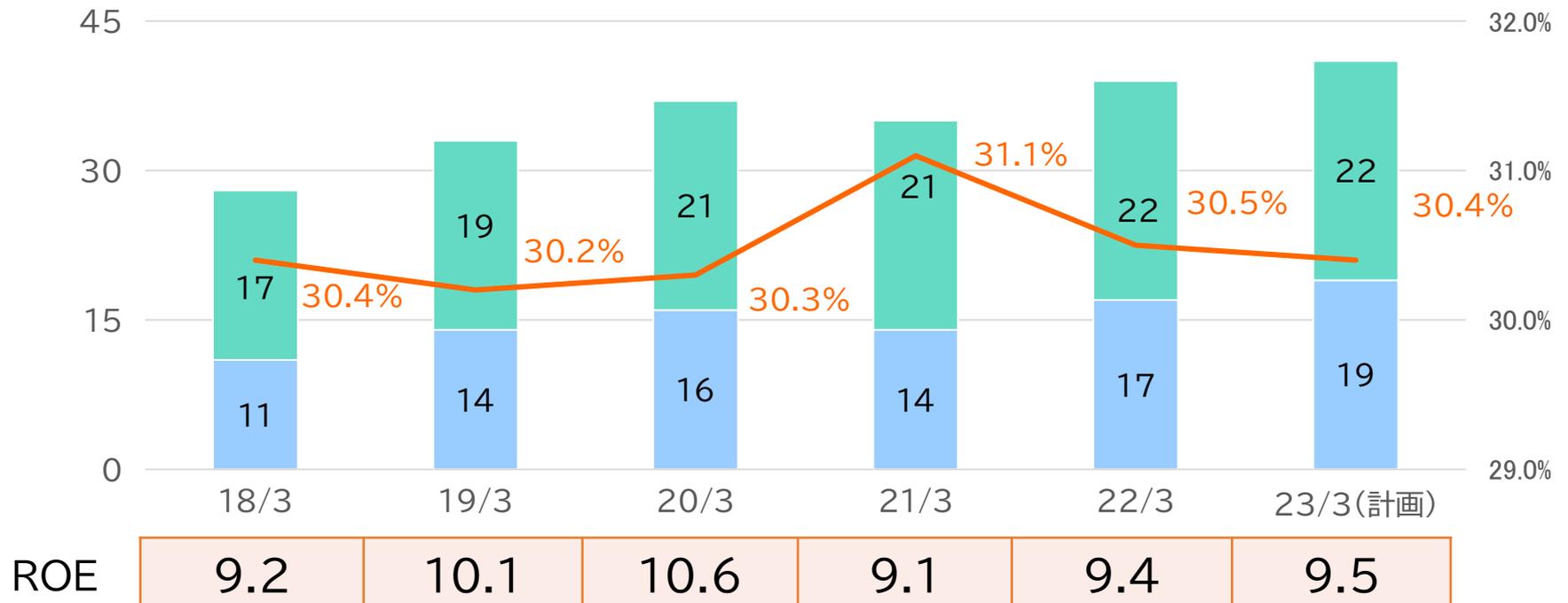
中間 19円
期末 22円

合計 41円

【配当金の推移】

単位:円

■ 中間 ■ 期末 — 配当性向



経営目標 ROE 10%以上

【ご参考】発行済株式総数 125,291,112 株、うち自己株式数 12,071,702株 ※2022年9月30日時点

| 自社株買い(11/4 プレスリリース)

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行するため

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|---------------|---|
| (1)取得対象の株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2)取得しうる株式の総数 | 400万株(上限)
(発行済株式総数(自己株式は除く)に対する割合3.5%) |
| (3)株式の取得価額の総額 | 100億円(上限) |
| (4)取得期間 | 2022年11月7日～2023年11月6日 |
| (5)取得方法 | 市場買付による自己株式取得 |

4. 中国事業の進捗と今後の見通し

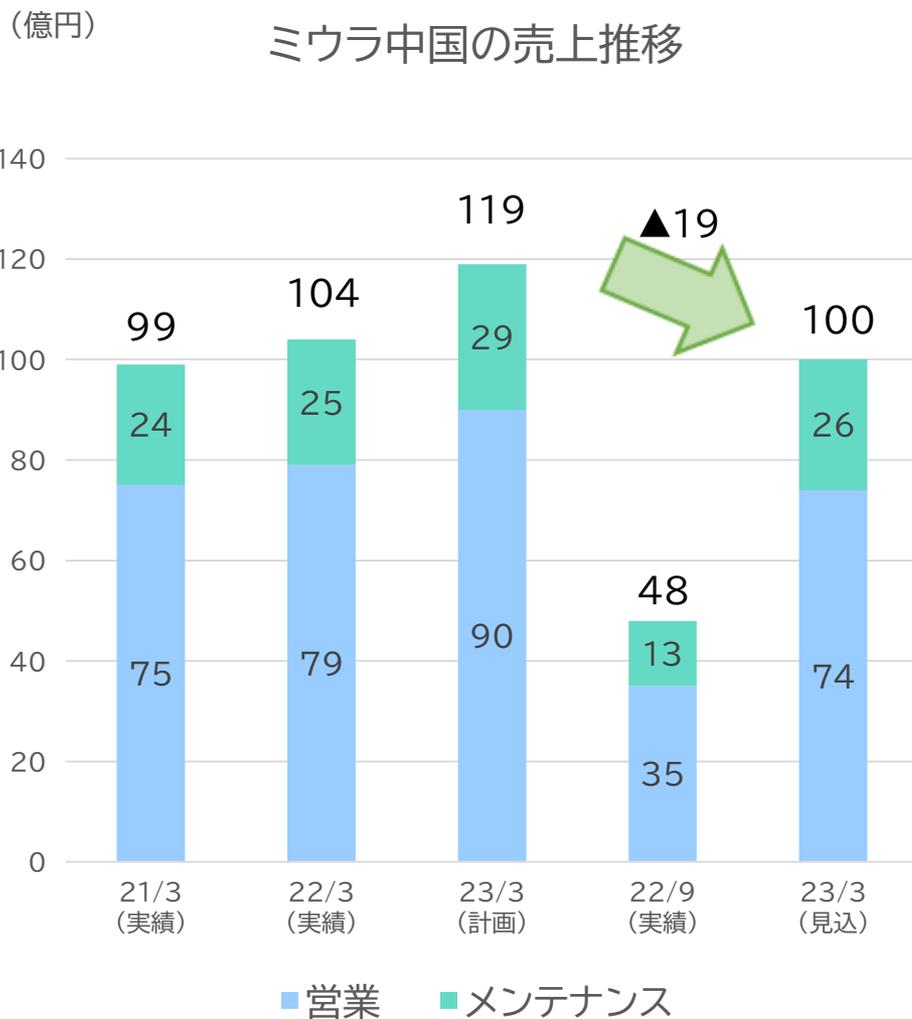
三浦工業株式会社

取締役常務執行役員

海外事業統括本部長 児島 好宏

2022年11月18日時点

2022年9月期実績および2023年3月期見込



ミウラ中国 戦略

- 環境規制に影響のない、省エネ提案による
他社ガス焼きボイラ入替戦略
ガスーガス戦略(燃料価格上昇に伴い、
過去提案済み案件に対し再提案の推進)
- 業種戦略「メインターゲット4業種」
食品・製薬・段ボール・飼料
 - ①好調な業種
 - ②内需産業

下方修正要因(▲19億)

- ・ゼロコロナ政策による行動制限が当初の想定より厳しく、営業活動が出来ていない
(新規ユーザー訪問、負荷分析)
- ・メンテナンスは保守契約は安定してるが、省エネ提案などが出来ていない

中国の概況

**2060年カーボンニュートラル**

(温室効果ガス排出量を実質ゼロ!)は維持し、安定成長を目指す

- ・2022年10月「第20回中国共産党大会」において、「習近平国家主席の3期目が確定」
「社会主義現代化強国」の全面的建設を目指す
内需拡大戦略と構造改革によりサプライチェーンの強靱性、安全性向上に力を入れる
積極的かつ確かなカーボンニュートラル、カーボンピークアウトの推進
エネルギー革命を深化させ、石炭のクリーン・高効率利用を強化する

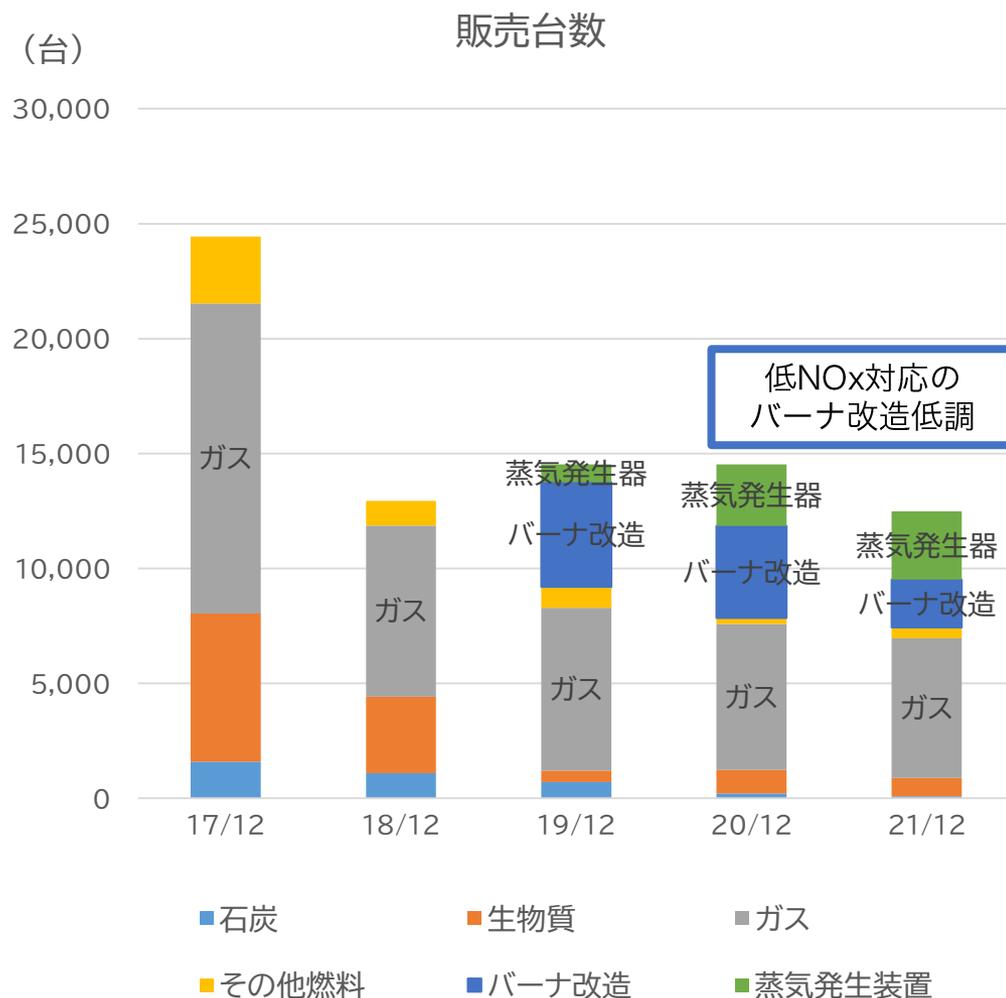
中国経済 (景気の減速感が強まる→金融緩和へ)

- ・中国財新製造業「景況感」PMI指数
9月は「48.1」 8月「49.5」と2カ月連続で、50を割り込む
- ・中国各地で新型コロナの局地的流行がやまず、厳しい防疫対策が経済活動に影響
- ・多くの企業が新規採用を減らし、9月の雇用指数は2020年5月以降の最低値を記録
⇒環境規制の緩和と改善時期の延期
- ・ゼロコロナ政策の継続で、景気減速、先行きは不透明

中国の市場

政治的要素	ゼロコロナ政策の継続で、景気減速、設備投資減少		
環境政策1	環境規制(石炭・生物燃料のガス化)	規制が進んでいない	
環境政策2	低NOx規制(バーナ改造)	規制が進んでいない	
環境政策3	排水・排気規制で工場移転(地方へ)		
環境政策4	新エネルギー(水素等)の研究開発を推進	ボイラ用途はまだ先	
貧困対策	農業・漁業の工場化(食品加工・キノコ栽培)		
COVID19 の影響	業種、企業で明暗が分かれる(各地で行動規制)		
食品業界	加工品・エキス・健康食品・家庭向け加工品	国内の健康志向上昇	
機械業界	車(政府の刺激策)・自動車用電池製造は拡大	部品不足	
繊維染色	アジアへ生産移転		
段ボール	自宅配送の増加	原料アップで収益悪化	
製薬	飲み薬・健康関連(漢方・ビタミン剤・エキス)		

中国ボイラ市場の変化(1月～12月)



2020年と2021年との比較

ボイラ市場全体の特徴

- 経済成長の不透明さによる、設備投資需要の更なる減退
投資判断基準が3年回収→1.5年回収
- 石炭焼きボイラ販売台数は低調
販売許可は35トン以上の大型のみ
- 蒸気発生装置販売台数は堅調
蒸気の乾き度、圧力負荷変動に関する問題が確認されており、今後蒸気発生装置を使用する業種が明確になってくる
- ガス焼きボイラ販売台数が微減



他社ガスボイラ入替戦略の継続

2022年の傾向

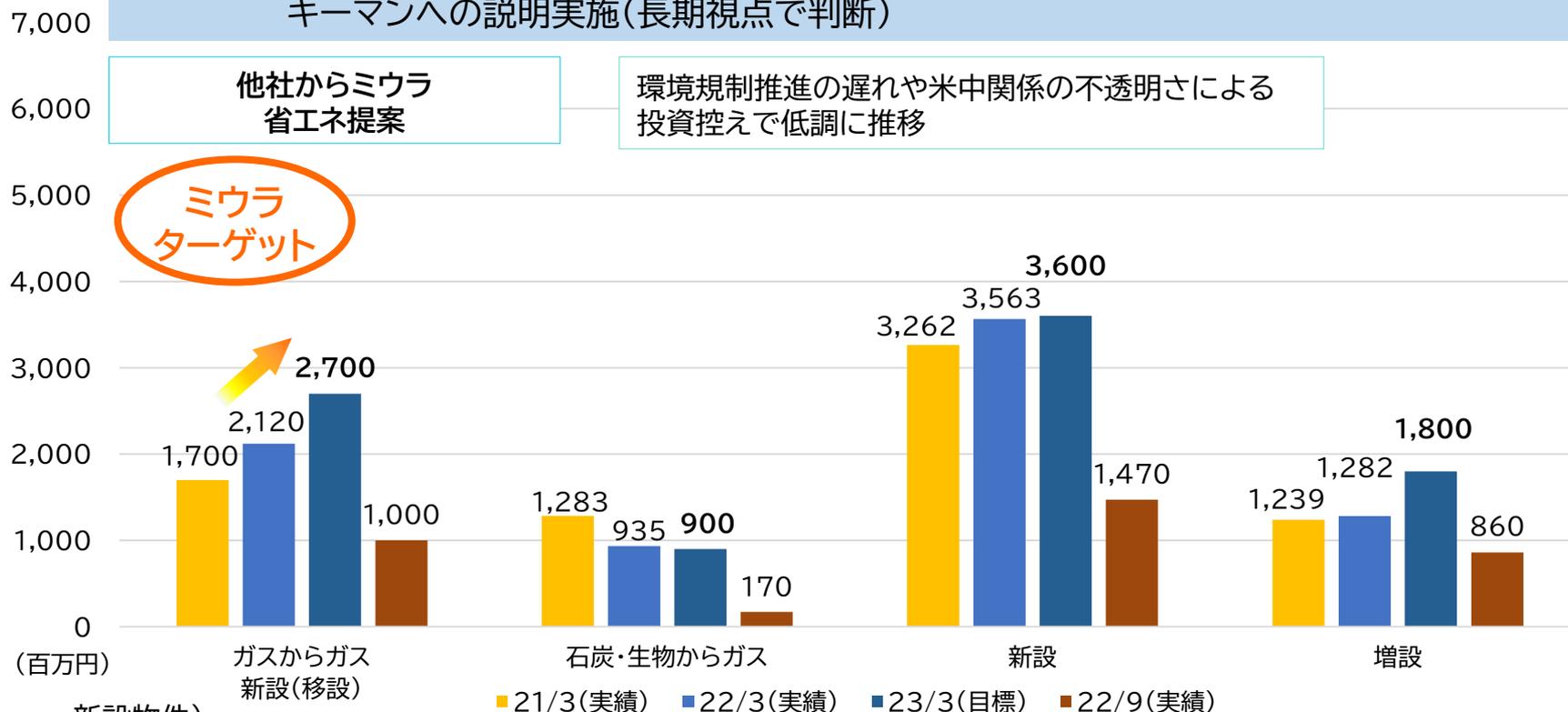
- ◆ 新型コロナウイルス感染症による影響拡大の懸念、環境規制の停滞
【具体策】お客様への行動量を増やす
省エネ提案内容の拡充
通信可能台数増加による、効率化

ボイラ納入区分推移(ミウラの納入先分析)

◆ガスーガス入替提案が低調

【課題】お客様の投資回収期間が3年から1.5年に短縮
COVID19の影響による行動制限

【具体策】省エネ効果の可能性が高いお客様への重点営業
燃料価格上昇に伴い、1.5年回収可能なお客様へ見積の再提出
キーマンへの説明実施(長期視点で判断)



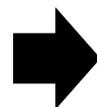
新設物件)

- ・大手企業が新築工場を建設(COVID19の影響による中小企業の廃業や倒産により大手企業が市場をカバー)
- ・環境規制(排水規制、化学工場規制)により工場移転が増加
- ・省エネでの納入実績(ガスーガス戦略)が新設物件受注に繋がっている

中国ボイラ市場業種分析(ミウラの業種分析)

ターゲット業種の2021年度実績(対昨年度比)

食品↗ 製薬↗ 段ボール→ 飼料→



2022年度 当初目標

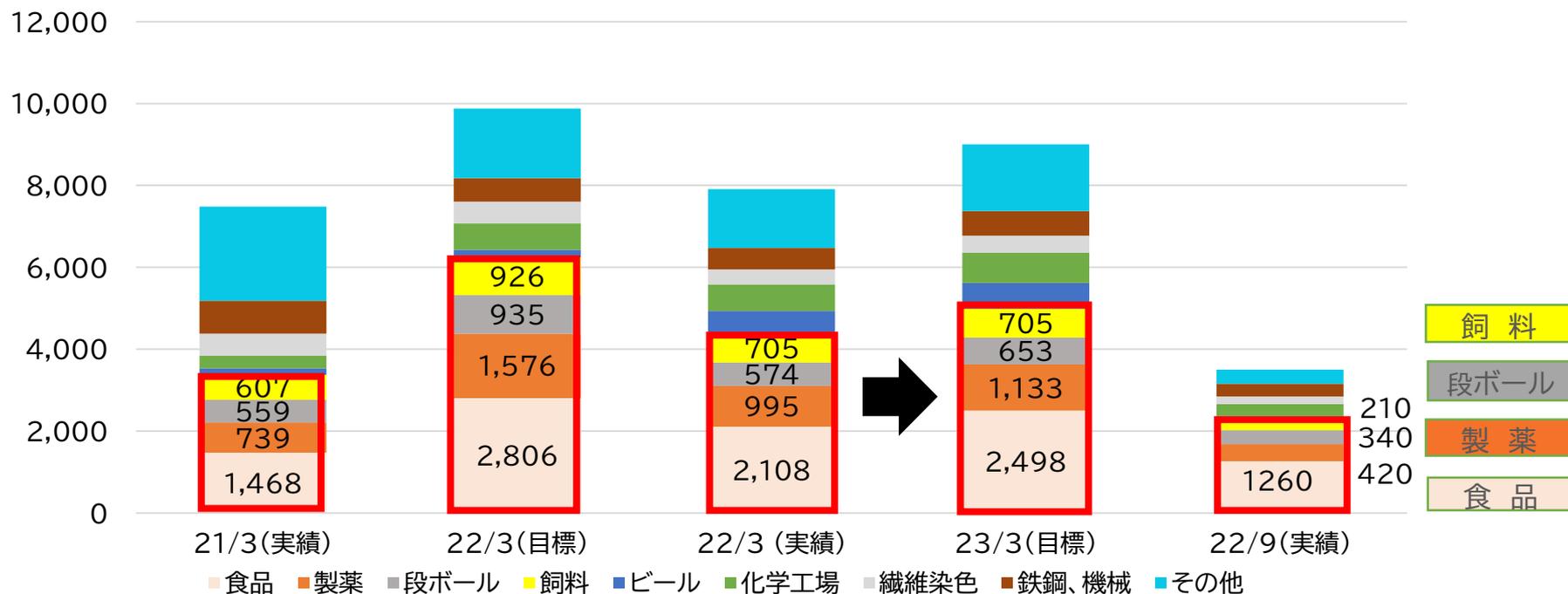
4業種で行動量アップ!

【課題】 COVID19の影響による行動制限や景気の悪化

- ・環境規制は強化される可能性は低い
- ・飼料業界は輸入原料の高騰の影響で、業績悪化の可能性大
- ・段ボール原紙の価格アップがあり価格転嫁できない状況

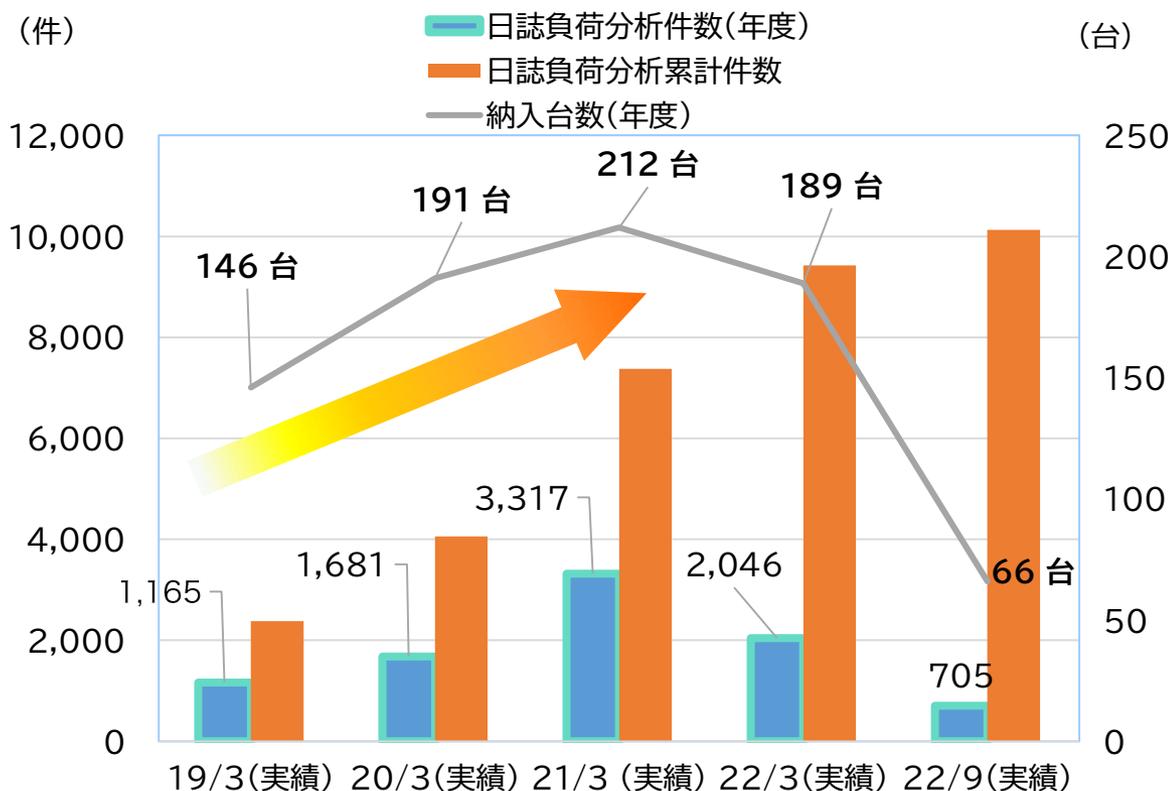
【具体策】 新たな攻略業種の開拓、省エネ提案品目の拡大

(百万円)



ガスーガス戦略の具体的な施策(営業の強化→省エネ提案)

他社ボイラの日誌負荷分析を行い、より効率の良いシステムを提案する



【現状】

- ・米中貿易摩擦など
経済成長の不透明さにより、
設備投資意欲が減退
- ・投資回収期間が1.5年以内で
無いと、なかなか投資の決断に
進まない

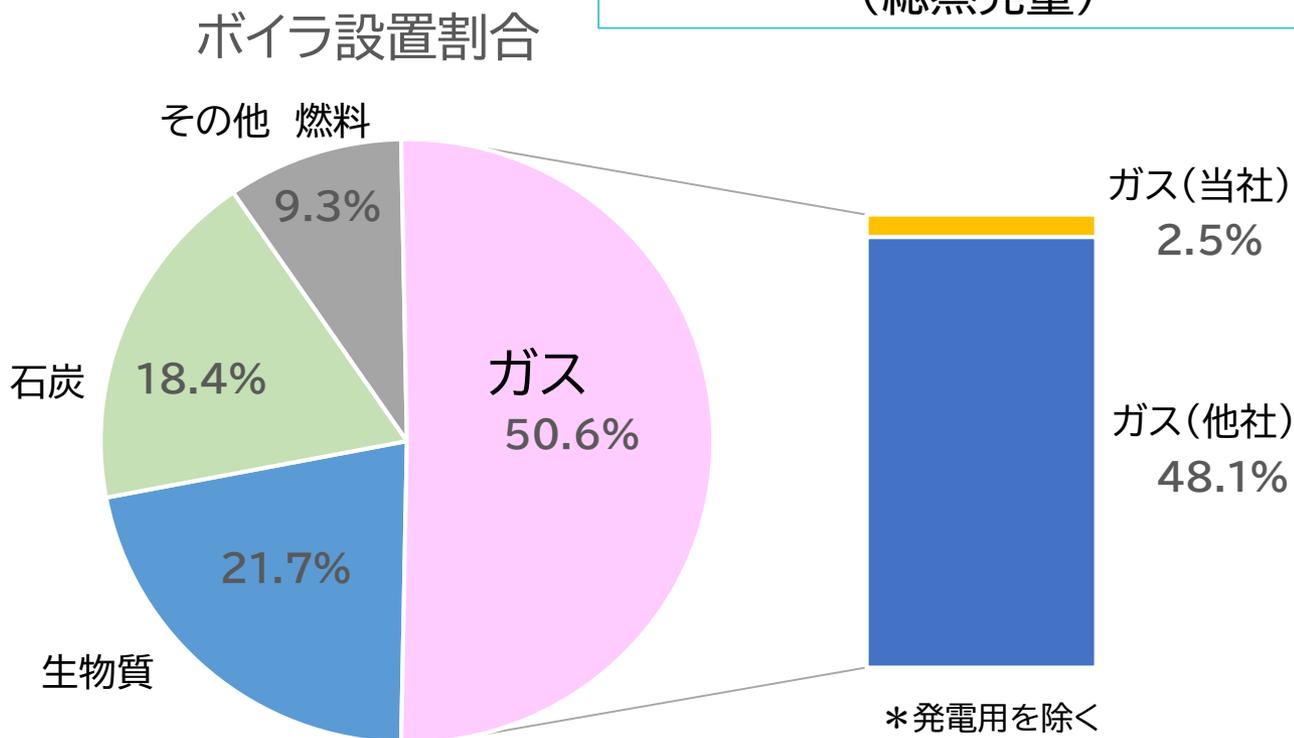
【具体策】

- ・負荷分析ターゲットの見直し
- ・負荷分析により蓄積された
情報から燃料価格アップにより、
再提案できるお客様の洗い出し
- ・リース、BOT提案などお客様の
要望に合わせた販売形態を提案

日誌負荷分析件数を増やし、ガスーガス入替実績に繋げる行動を継続する

中国ボイラ市場の現状(燃料別)

約80万t/h
(総蒸発量)



* 発電用を除く
* 値は総蒸発量ベース(2022年3月自社調べ)

※急速なガス化により、約50%はガス焼きボイラに置き換え済み
(ボイラ更新ではなく、バーナー交換でガス化が促進)

※ガス化により、ガスーガス戦略のターゲットボイラ市場は拡大している

※大型ボイラ投入(最大容量4t→6t)によりターゲット市場の拡大(76万t→80万t)

中国に重点を置く理由

市場状況

当社ターゲットボイラ台数は19万台 蒸発量では80万t(日本の4倍)

2022年3月末

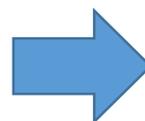
ボイラ設置台数 8,286台 蒸発量 約20,000t 設置ベースシェア 2.5%

・進出済み地区における台数は120,000台(大半はガスボイラ)

・調査登録完了ボイラ台数は54,000台→12万台の登録を目指す

負荷分析は10,000台突破、その結果、低効率で使用しているユーザーは10%以上であると推定

ガスーガス戦略ターゲット
12,000台以上



10%獲得で1,200台

設置台数が増加すれば、ボイラ更新需要も出てくるため、販売台数の上乘せが可能である

また、メンテナンス契約が4,225台(2022年3月)契約率51%であり、

今後契約率の大幅な増加は難しい(基本的に機器販売時に取得のため)が、

契約台数は堅調に増加しており、収益・利益の増加は見込まれる

※ゼロコロナ政策により調査及び負荷分析が進んでいないため、登録数や物件数が停滞している

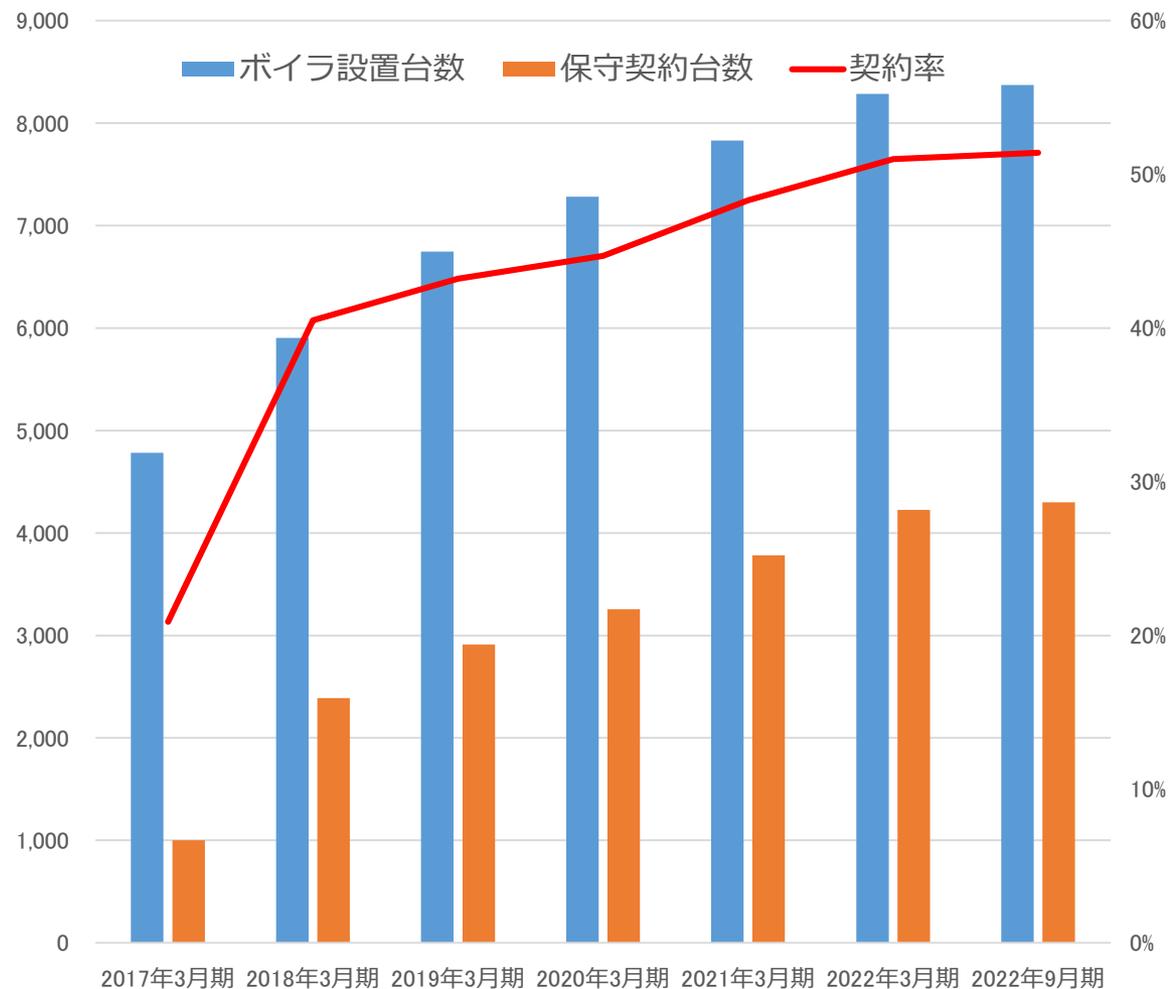
中国市場は

①市場規模の大きさ

②貫流蒸気ボイラのメリットが活かせる(ターゲットとなるユーザーの多さ)

③メンテナンス契約の取得件数の着実な増加も見込まれる

メンテナンス契約進捗状況



メンテナンス契約戦略

- ・2017年より新規販売時に契約取得を必須化
- ・1年目は特別価格で販売
- ・ZMPプログラム
キーマンへの報告
負荷分析
水質チェックなど
↓
顧客満足度アップ
↓
再契約率アップ

今後

- ・新規販売案件は通信を必須化
↓
- ・オンラインメンテナンスの有効性をユーザーへ理解してもらう(再契約率向上)
- ・メンテナンスの行動効率改善

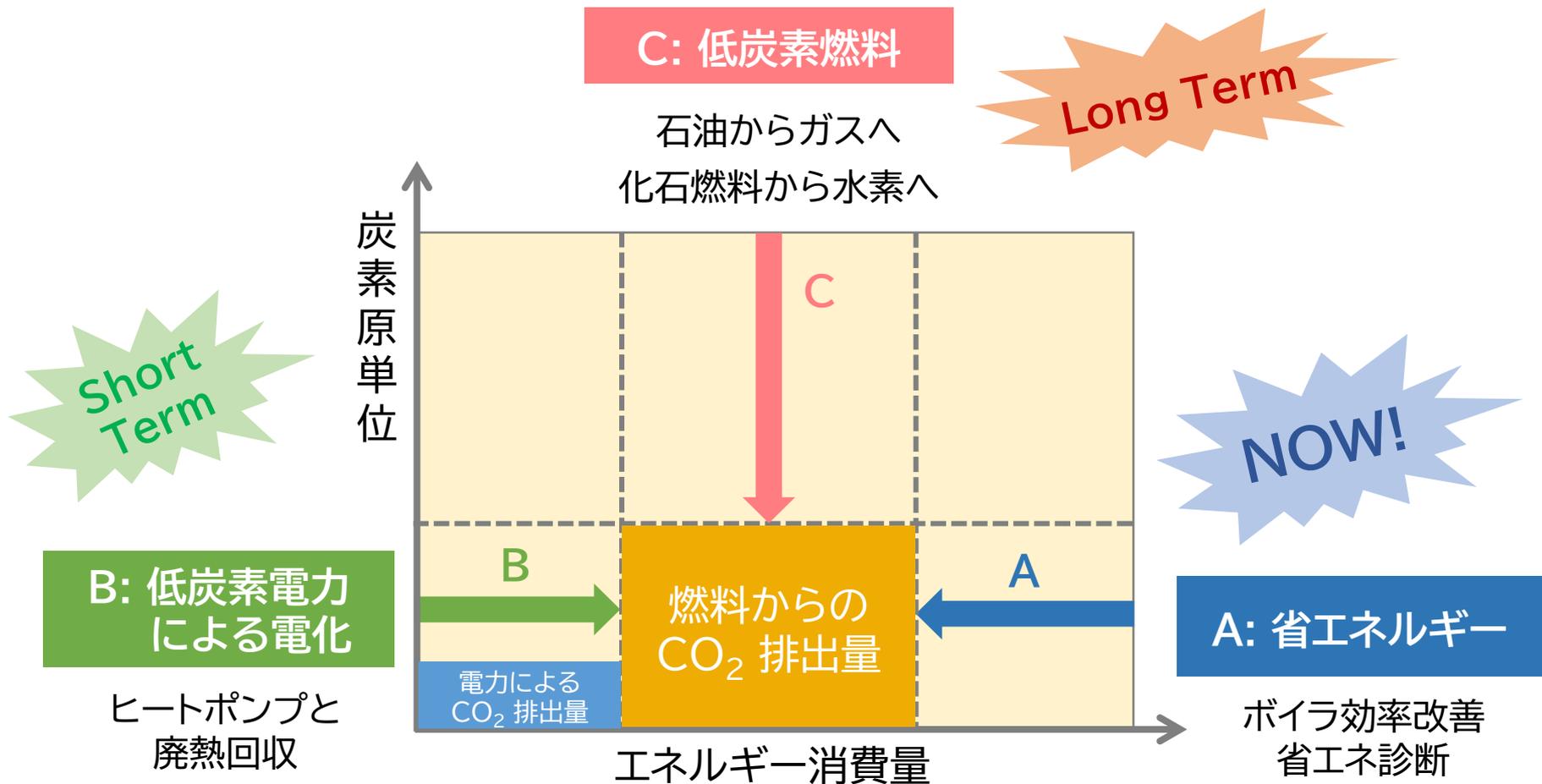
5. カーボンニュートラルに向けた取組み

～コンプレッサの事業展開～

三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO 宮内 大介

ミウラの脱炭素アプローチとアクション



資本業務提携により目指す姿

お客様のCO2削減のための省エネニーズに応えたい

世界初!!

エアーコンプレッサ・ヒートポンプ・ボイラを
メニューに持つユーティリティプラットフォーム

KOBELCO

技術力・製品力

MIURA

販売・メンテ網



エアーコンプレッサ

ヒートポンプ



熱(蒸気)

5 コンプレッサの事業展開

熱回収式電動 エアコンプレッサ VA

VA-1400CO

電動インバータ 給油式

VA-750CO

電動インバータ 給油式

VA-540CF

電動ロード・アンロード オイルフリー

VA-210BF 電動インバータ オイルフリー



電動コンプレッサ



小型貫流蒸気ボイラ



蒸気駆動 エアコンプレッサ SD

SD-1310CO 給油式

SD-1310COH 高圧蒸気対応 給油式

SD-695CO 給油式

SD-770CF オイルフリー



電動電力を使わないエアコンプレッサ

クローズドドレン 回収装置 HX

HX

高温のドレン水は大切な資源



エアコンプレッサ 台数制御装置 VM

VM

最適な圧力を制御運転で維持



未利用熱活用 ヒートポンプ VH

VH

廃温水の熱エネルギーを有効活用



フラッシュ蒸気 発生装置 HJ

HJ

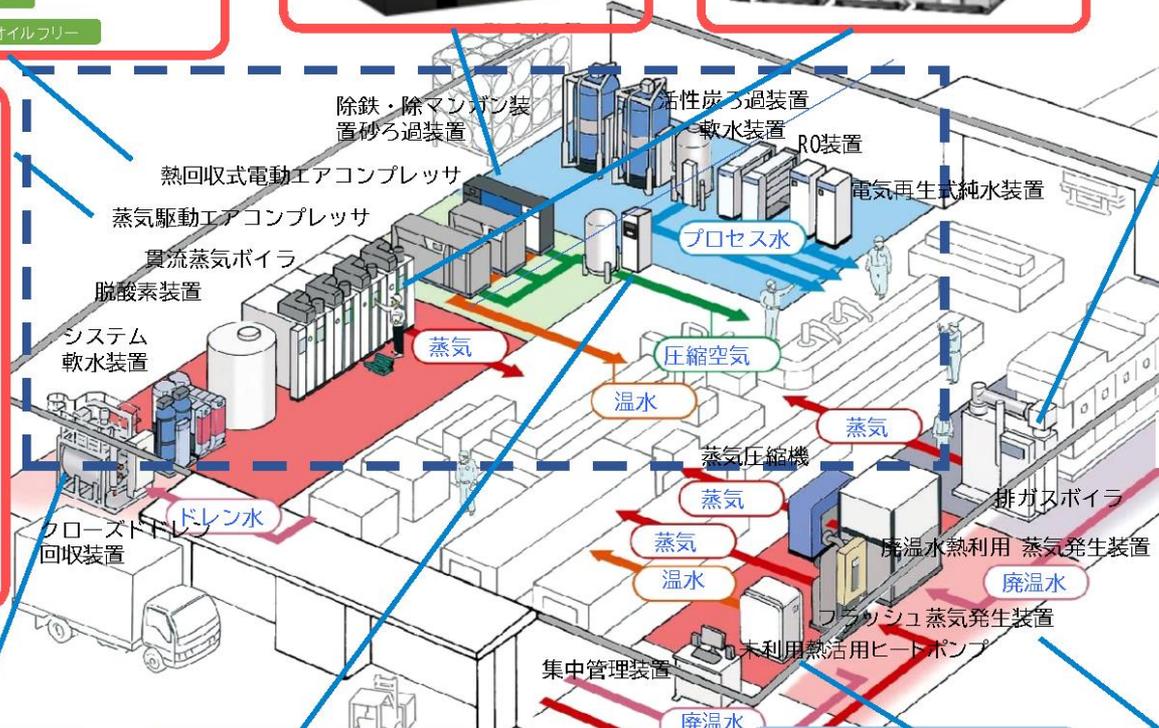
未利用の蒸気ドレンを再利用



排ガスボイラ



省エネルギーから活エネルギーへ



<従来の取組み>

ボイラ提案時に、コンプレッサを含めて提案
エア診断・電動コンプレッサ診断を実施し、最適な提案を実施。
当社販売ユーザーでのメンテナンス一時的対応

<2022年1月資本提携後の取組み>

- ①ミウラのフィールドエンジニアによる修理・点検・メンテナンスの実施に向け、
研修受講(KCC社内資格取得)→資格者は今後も増加予定
- ②メンテナンス契約内容の整備。

<2022年10月より>

コンプレッサ向けメンテナンス契約の開始

ラインナップ



大型コンプレッサ



給油式コンプレッサ



オイルフリー式
コンプレッサ



蒸気駆動
エアコンプレッサ



熱回収式電動
エアコンプレッサ

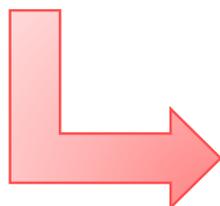
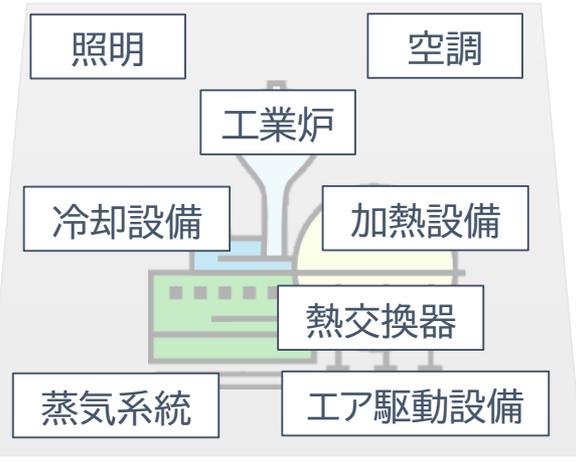
①エア診断・
電動コンプレッサ
診断実施

2017年4月～
2022年3月
4,000件以上実施

ユーティリティ設備



製造設備



②最適な商品提案

省エネ提案



電気駆動
エアコンプレッサ

減圧
エネルギー



蒸気駆動
エアコンプレッサ

エア
圧縮熱



熱回収式電動
エアコンプレッサ

省エネ、CO2削減

➤ エア診断・電動コンプレッサ診断で最適提案

ユーティリティプラットフォームでのワンストップサービスの実現

- “空気” “熱” を供給する両社が
プラットフォームとして連携
- トータルソリューションを加速
- メンテナンスを通じて新しい価値の提供

NEW ZMP-OC

安心 1

24H・365日対応

*全国約100拠点からクラウド通報を受信し駆け付けます！
*出向費・技術費は契約に含む！

安心 2

定期点検+節電・CO2削減

*ミウラフィールドエンジで定期整備、点検サイクルもミウラで管理、点検忘れの故障も抑制

安心 3

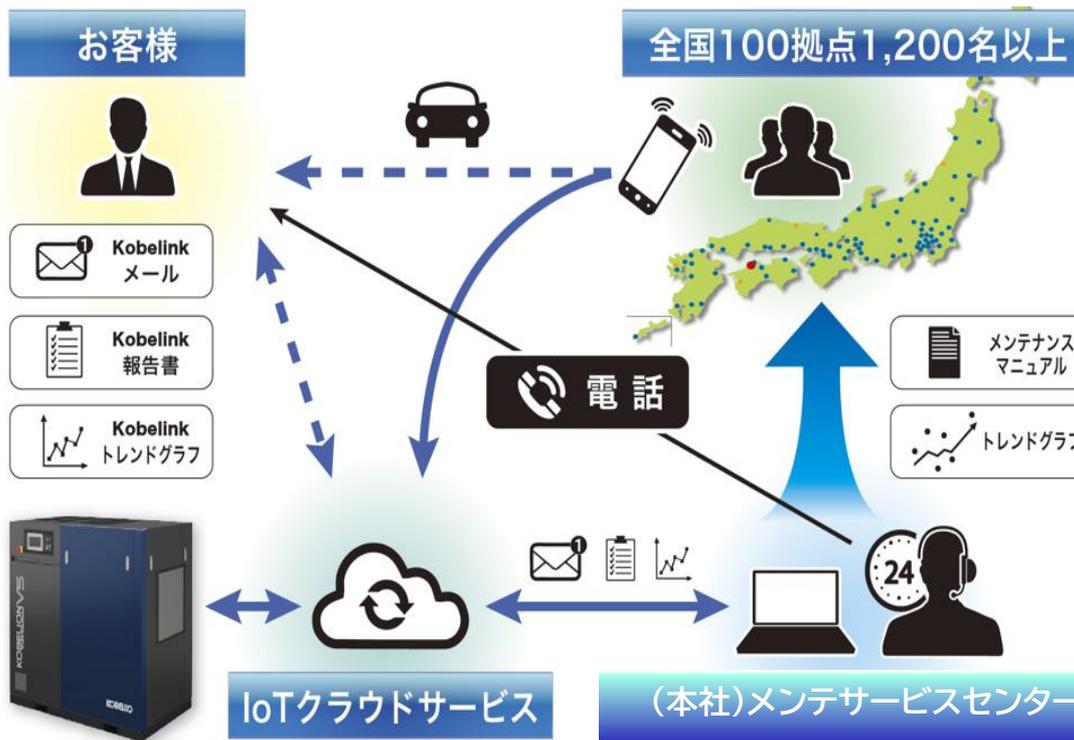
見える化

*機器リアルタイムモニタ、月報、異常履歴等
*熱回収式電動エアコンプレッサVAの場合は、ミウラオンラインメンテナンスとなります。

安心 4

部品保証

*KCC製圧縮機の部品・圧縮機本体の保証！



安心 5

省力化

*オイル交換もミウラで対応
*クラウドで運転管理業務の低減
*修理依頼業務の低減 等

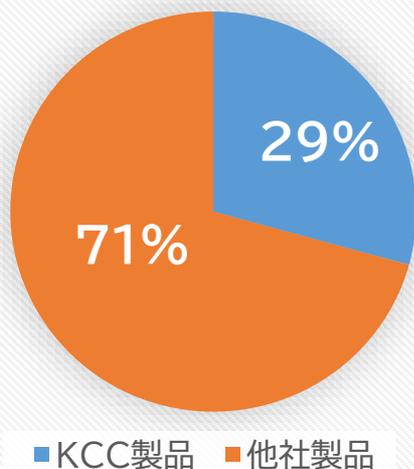
安心 6

コスト平準化

*定額、経費安定！

市場環境

当社ユーザーでの
コンプレッサ設置台数
約49,500台



ボイラ保守契約ユーザーをターゲットに
機器や保守を販売

事業目標(2027年度)

コンプレッサ販売台数目標

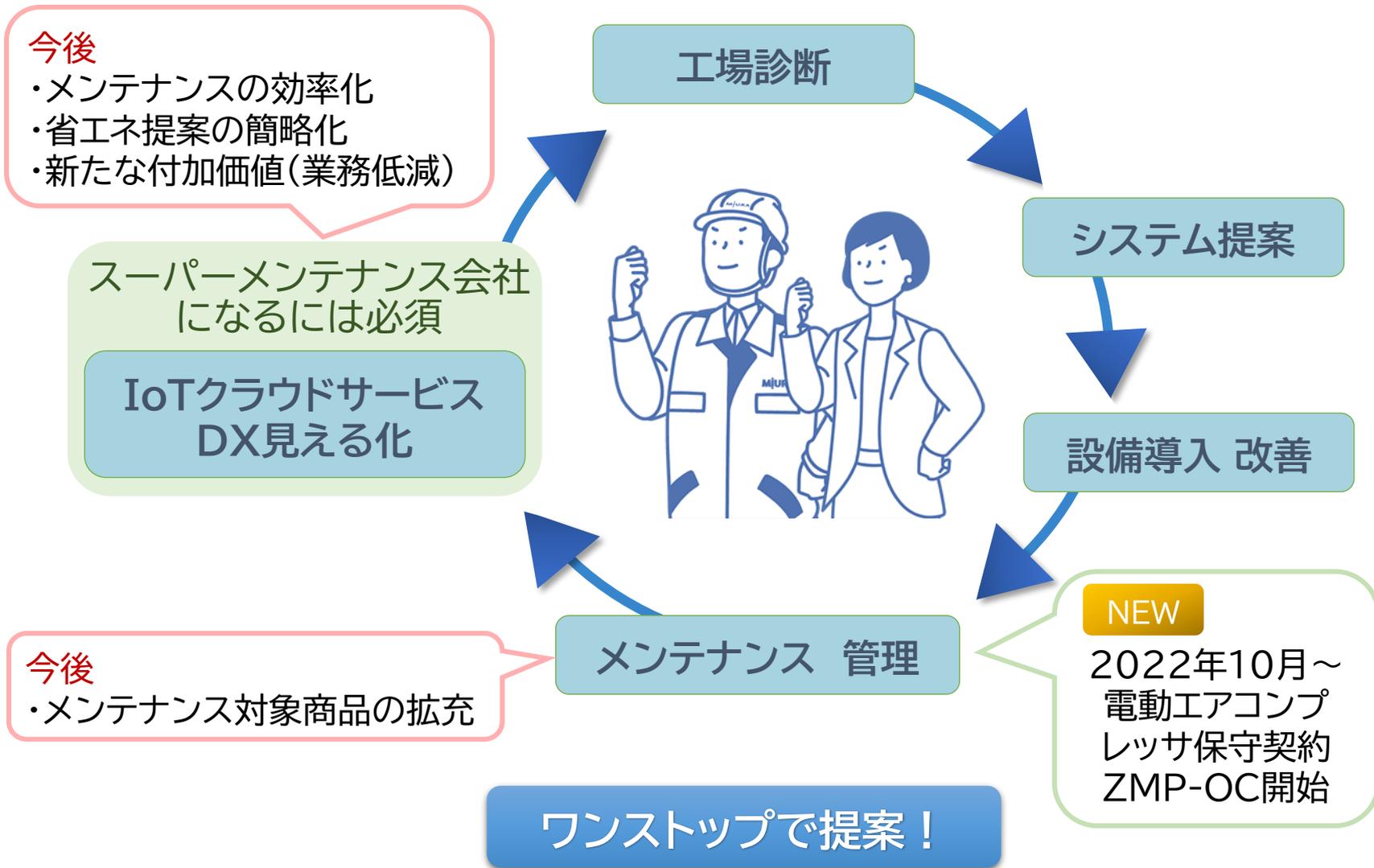
500台以上 / 年

ただし、コベルコ・コンプレッサのコンプレッサに限らず、お客様のご要望(仕様)に合わせて最適な提案(他メーカー製品を含む)の販売も引続き行います。

メンテナンス契約取得率
(新規販売分)

対象機種に対して60%以上

目指すビジネスモデルについて



その技術に、愛はあるか。

その商品に、愛はあるか。

そのサービスに、愛はあるか。

いつも自分に問いかけること。

ミウラは、そうやって生まれてくる。

そのひらめきに、愛はあるか。



6. Appendix

1. セグメント別売上収益推移
2. (国内)事業別売上収益推移
3. セグメント別営業利益推移
4. 地域別売上収益推移
5. キャッシュ・フロー推移
6. 設備投資・減価償却費・研究開発費推移
7. 為替レート推移

1.セグメント別売上収益推移

単位:億円

	2019年 3月期2Q	構成比 (%)	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売	274	42	299	44	264	44	278	42	282	41
国内メンテナンス	153	23	161	24	168	28	180	27	186	27
ランドリー	104	16	92	14	58	9	65	10	63	9
海外機器販売	97	15	93	14	89	14	100	15	113	16
海外メンテナンス	26	4	29	4	33	5	36	6	45	7
合計	656	100	677	100	615	100	662	100	692	100

2.(国内)事業別売上収益推移

単位:億円

(国内) 事業別 売上収益推移	2019年 3月期2Q	構成比 (%)	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)
ボイラ	285	53	299	54	260 (264)※	53 (54)※	295 (300)※	56 (57)※	296	56
アクア (水処理機器)	14	3	19	3	26 (22)※	5 (4)※	32 (27)※	6 (5)※	33	6
船用	48	9	57	10	62	13	44	8	53	10
食機・ メディカル	51	10	56	10	50	10	58	11	59	11
ランドリー	104	19	92	17	58	12	66	13	64	12
その他(特機・ 新事業・環境 等)	30	6	31	6	35	7	30	6	28	5
合計	532	100	554	100	492	100	525	100	533	100

※ボイラ事業、アクア事業について、データ集計の細分化が出来たことにより、2021年3月期及び2022年3月期業績を修正しております。()内のデータは修正前の業績および構成比になります。

3.セグメント別営業利益推移

単位:億円

	2019年 3月期2Q	構成比 (%)	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売 営業利益率	16 5.5	21	24 7.6	28	16 5.8	20	24 8.4	27	22 8.1	24
国内メンテナンス 営業利益率	43 28.2	55	47 29.2	54	50 29.9	63	50 28.0	55	53 28.6	57
ランドリー 営業利益率	8 8.0	11	5 5.7	6	0.1 0.2	0	2 3.5	2	△0.3 —	0
海外機器販売 営業利益率	8 8.9	11	7 8.2	9	7 8.0	9	8 8.5	9	11 10.4	12
海外メンテナンス 営業利益率	1 6.6	2	2 9.8	3	6 17.9	8	6 18.0	7	7 16.0	7
合計 営業利益率	80 12.2	100	87 12.9	100	80 13.0	100	92 14.0	100	93 13.5	100

4.地域別売上収益推移

単位:億円

	2019年 3月期2Q	構成比 (%)	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)
日本	532	81	554	82	492	80	524	79	532	77
米州	24	4	25	4	21	3	30	4	45	7
韓国	36	5	38	5	40	7	38	6	37	5
中国	42	7	39	6	46	7	44	7	47	7
その他	22	3	22	3	17	3	24	4	28	4
海外合計	124	19	123	18	124	20	137	21	159	23
合計	656	100	677	100	616	100	662	100	692	100

5. キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2019年3月期 2Q	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q
営業活動CF	6,393	6,195	10,003	7,496	4,058
投資活動CF	△908	△1,397	△6,715	△3,722	△3,558
フリーCF	5,485	4,798	3,288	3,774	500
財務活動CF	△2,253	△4,327	△4,140	△4,141	△4,757

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業活動CF	17,134	18,121	22,982	19,442	—
投資活動CF	△2,552	△10,300	△11,073	△14,481	—
フリーCF	14,582	7,821	11,909	4,961	—
財務活動CF	△7,064	△8,978	△7,991	△3,263	—

6.設備投資、減価償却費、研究開発費推移

単位:百万円

	2019年3月期 2Q	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q
設備投資(使用権資産除く)	3,341	2,311	1,701	1,981	1,265
減価償却費	1,819	3,234	3,353	3,410	3,534
研究開発費	1,839	1,497	1,367	1,333	1,391

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (計画)
設備投資(使用権資産除く)	4,478	4,570	3,646	3,847	4,222
減価償却費	3,678	6,580	6,733	6,879	7,280
研究開発費	3,728	3,578	3,165	2,905	—

7.為替レート推移

平均レート

通貨	2019年3月期 2Q	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	前2Q増減率 (%)	2023年3月期 2Q 計画
USD	110.26	108.60	106.93	109.81	134.03	+22.1	120.00
CAD	84.87	81.73	78.72	88.30	103.84	+17.6	97.00
元	16.74	15.68	15.26	16.99	19.89	+17.1	19.00
NTD	3.65	3.49	3.61	3.94	4.49	+14.0	4.20
WON(100W)	10.04	9.22	8.89	9.65	10.32	+6.9	10.10
ルピア(100Rp)	0.78	0.77	0.73	0.77	0.91	+18.2	0.86
ブラジルリアル	29.27	27.56	19.91	20.75	26.36	+27.0	25.80
メキシコペソ	5.75	5.64	4.72	5.49	6.66	+21.3	6.10
タイバーツ	3.40	3.49	3.38	3.42	3.79	+10.8	3.60

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

お問い合わせ先

三浦工業株式会社 そうごう 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <https://www.miuraz.co.jp/>